

城内小学校跡地で遭遇した城内高校卒業生間の心の通い合い

毎週水曜日に、早朝 5 時 15 分頃に辻堂を発って、小田原の二の丸広場(城内小学校跡地)で開かれている「和みの会」のラジオ体操に参加しています。参加人員は季節によって違いますが、夏の朝などは 70-80 人の人数が出そろい、大きく広がって、ラジオに合わせて体を動かしています。かつては、根岸敏郎兄、望月郁文兄と私の 3 組トリオの他に、市川陸男兄(6 組)、中澤秀夫兄(7 組)と小田高 11 期会メンバーが 5 名も参加していたのですが、現在は中澤兄と私の二人だけになってしまいました。

城内小学校の校庭に植えられていた樹々も育っていて、季節ごとに桜や躑躅、それに泰山木などが花を咲かせ、何とも清々しい雰囲気やラジ体操会場に添えていてくれます。何よりも嬉しいのが、皆さん心優しく、水曜日しか参加しない私に笑顔と「お早うございます」の声を贈ってくださることです。膝と肘を故障する前はラジオ体操の後に朝食会をしてから八幡山テニスクラブの練習会に参加していたのですが最近、朝食会の後に真鶴や入生田、秦野といった近場に早朝ドライブに出かけたりしています。

先週の水曜日には、故根岸敏郎兄の跡を継いで「和みの会」の常連メンバーになっておられる根岸幸子さんから素晴らしいものを見せていただきました。傘寿記念文集として出された「榎の木蔭」という小冊子です。もともと城内高校には、“小田原高女・城内高校物語”と銘打った「榎の木蔭」という書籍が刊行されていて城内高校卒業生に愛読されてきたのだそうですが、根岸幸子さんたち小田原城内高校 13 期生 3 年 3 組の皆さんは、この「榎の木蔭」の名を受けて A5 版 15 枚仕立ての素敵な小冊子を“紙面クラス会”誌として創られたのでした。

根岸幸子さんと言えば、私たち小田高 11 期会が新小田高生(城内高校卒業生)の参加をお勧めしていた時に積極的に参加してくださり、以下のような記事も Web11 に投稿されています。

「更なる“新小田原高校”卒業生の情報拡散を」

https://odako11.net/Happyou/happyou_negishi_s/happyou_negishi_s_1.pdf 年

根岸幸子さんの熱心なガイドのもとに、特に熱心に私たち小田高 11 期会の活動に大勢参加してくださっていたのが城内高校 13 期生 3 年 3 組の皆さんだったのです。以下のようなメンバーが「榎の木蔭」に投稿されているのを知り、とても嬉しく懐かしい思いをさせていただきました。

- ・ 海野(旧姓・井上)恵美子さん・・・小田高 11 期会創設コンビの故海野尚光兄(7 組)の奥方で故井上久義兄の妹さん。
- ・ 島田(旧姓・遠藤)祐子さん・・・遠藤紀忠兄(3 組)の妹さん。小田高 11 期会創設の際の会合が遠藤兄宅で開かれた時にご在宅だったのですが、日本の声楽家に対して誰かが「祐子さんも卒業 30 周年記念の“余興として“ステージで歌ってもらえませんか”と口走ったのが祟ったためか小田高 11 期会の方はすっかりお見限りになってしまいました。
- ・ 吉田(旧姓・澤村)紀子さん・・・澤村恭正兄(1 組)の妹さん。
- ・ 上林(旧姓・鈴木)三樹代さん・・・何回か小田高 11 期会の催しに参加していただき、新小田高生の気概を見せていただきました。

なにより、小田原城内高校 13 期生 3 年 3 組の皆さんが作られた「榎の木蔭」に掲載されている文章から感じられる心の通い合いには素晴らしいものがあり、とても羨ましい感じがしました。「数二人になるまで続ける」つもりでいた私たちの小田高 11 期会は何故か突然解散してしまいましたが、負けてはいられません。「榎の木蔭」作成のお世話役をされた山口幸子さんと古谷綾子さんが巻末に述べられている「人生百年の時代、3 年 3 組燦燦と！」と同じ思いを私たちも胸に置いて、今道周雄兄(4 組)が小田高 11 期会解散後も編集長として頑張っておられる「小田高 11 期ホームページ(Web11)」を通じて、小田高 11 期生同士の心の触れ合いを享受し続けていこうではありませんか。